

令和5年度

教育研究活動等に係るデータ分析による

自己点検・評価報告書（補刷）

令和5年12月

福井大学

全学内部質保証委員会

目 次

1. 教育研究活動等に係るデータ分析による自己点検・評価（補刷）について	1
2. 自己点検・評価結果（自己点検・評価シート）・・・・・・・・・・	4
3. 分析基本データ集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7

1. 教育研究活動等に係るデータ分析による自己点検・評価（補刷）について

【自己点検・評価実施期間】

本自己点検・評価は、令和5年11月から令和5年12月に実施した。

【評価項目】

別紙「分析基本データ一覧とその評点」のうち、項目番号1-②'及び2-①

【各データの基準時】

員数群-補：令和5年11月1日現在

実績群-補：令和4年4月1日～令和5年3月31日（追って集計が必要なデータ）

※評価実施手順等の詳細は、令和5年6月実施「令和5年度教育研究活動等に係るデータ分析による自己点検・評価報告書」を参照のこと。

【自己点検・評価結果の概要】

「教育研究活動等に係るデータ分析による自己点検・評価」の対象とする分析基本データのうち、項目番号1-②'（員数群-補）及び2-①（実績群-補）について、自己点検・評価を実施した結果は以下のとおりである。

1-②' 入学定員充足率・平均入学定員充足率（秋入学を含む）

一部の部局で、評価基準等を満たしていない

2-① 研究論文数（年間）（教員当たりの業績数）

評価基準等を満たしていない

分析基本データのうち、上記以外のデータについて、本年度6月に自己点検・評価を実施した。そこで、今回の評価結果を併せ、今年度の評価結果をまとめると以下のとおりであり、各分析基本データの評価結果は別紙「分析基本データ一覧とその評点」のとおりとなっている。

分析基本データ総数	評点 ¹⁾		
	1	2	3
19	6	7	6

1) 評点 1. 評価基準等を満たしている

2. 一部の部局で、評価基準等を満たしていない

3. 評価基準等を満たしていない

本年度は、上記のように、分析基本データのうち、7データは「一部の部局で、評価基準等を満たしていない」、6データは「評価基準等を満たしていない」と判定された。特に、本年度、設定した基準等を満たしていない分析基本データは次のとおりである。

「一部の部局で、評価基準等を満たしていない」

- ・1-① 志願者数・受験者数
- ・1-② 入学定員充足率・平均入学定員充足率
- ・1-②' 入学定員充足率・平均入学定員充足率（秋入学含む）
- ・1-④ 収容定員超過率
- ・1-⑥ 標準修業年限内卒業・修了率
- ・1-⑦ 標準修業年限×1.5年以内での卒業・修了率
- ・1-⑧ 学位授与数（博士）

「評価基準等を満たしていない」

- ・1-⑤ 授業外学修時間
- ・2-① 研究論文数（年間）（教員当たりの業績数）
- ・2-② 科研費採択件数・内定金額（教員当たりの獲得額）
- ・3-① 外国人留学生数
- ・3-② 海外派遣学生数
- ・4-④ 女性教員比率

上記のデータの中には法人評価・認証評価で確認が求められる事項や共通指標に該当するものもあり、それぞれ、評価基準等を満たすよう、改善に向けた取組が求められる。

別紙 分析基本データ一覧とその評点

分類	基本データ（項目）		粒度	基準等	対象年度	実績（前年度） ／員数（今年 度）	当該年度の評点	備考
教育	1-①	志願者数・受験者数	学部・学科 研究科・課程	過去5年間の平均以上	当該年度5月現在 (春期)	員数群	2	
	1-②	入学定員充足率 ・平均入学定員充足率	学部・学科 研究科・課程	認証評価等の基準 (目安:100%以上、 130%未満)	当該年度5月現在	員数群	2	モニタリング項目
	1-②'				及び11月現在 (秋期を含む)	員数群一補	2	
	1-③	収容定員充足率（未充足の 状況）	学部・学科 研究科・課程	法人評価等の基準 (90%以上:医・工・教研・ 医研・工研 80%以上:教・国・国研)	当該年度5月現在	員数群	1	モニタリング項目
	1-④	収容定員超過率	学部 研究科	法人評価等の基準 (110%)	当該年度5月現在	員数群	2	モニタリング項目
	1-⑤	授業外学修時間	全学・学部	第3期末より増 (12.5時間)	前年度	実績群	3	
	1-⑥	標準修業年限内卒業・修了 率	各部局	認証評価等の基準 (目安: 教研:85% 工研:82.5% 教・医・工・国・国研:80% 医研:-)	前年度	実績群	2	共通指標 モニタリング項目
	1-⑦	標準修業年限×1.5年以内 での卒業・修了率	各部局	認証評価等の基準 (目安: 教・医・工・国:90%以上 教研・医研修・工研前・国 研:85%以上 医研博・工研後:70%以 上)	前年度	実績群	2	モニタリング項目
	1-⑧	学位授与数（博士）	医学系・工学	前年度より増	前年度	実績群	2	共通指標
1-⑨	就職率	全学・部局	高い水準を維持 (概ね96%前後)	前年度	実績群	1	特徴データと重複 (2)-1-B他	
研究	2-①	研究論文数（年間）（教員 当たりの業績数）	全学	第3期平均値より増	前年度	実績群一補	3	共通指標 3年間の平均ではなく、1年 ごとのデータを取り扱う
	2-②	科研費採択件数・内定金額 （教員当たりの獲得額）	全学	第3期平均値より増	前年度	実績群	3	研究推進課から提供のデータ とし、共通指標数値とは異なる 可能性あり
	2-③	外部資金獲得状況:総額・ 内訳別総額（教員当たりの 受託・共同研究受入額）	全学	第3期平均値より増	前年度	実績群	1	研究推進課から提供のデータ とし、共通指標数値とは異なる 可能性あり
グローバル	3-①	外国人留学生数	全学	設定した目標値 (第3期の正規留学生数の 年平均(118名)より増加)	前年度	実績群	3	特徴データと重複 (7)-1-A
	3-②	海外派遣学生数	全学	設定した目標値 (第3期のJASSO海外留学支援 制度の支援実績の年平均(171 名)より増加)	前年度	実績群	3	
教員数	4-①	専任教員数	学部・学科 研究科・課程	設置基準	当該年度5月現在	員数群	1	
	4-②	研究指導・補助教員数	学部・学科 研究科・課程	設置基準	当該年度5月現在	員数群	1	
	4-③	若手教員採用比率	人事で設定した 粒度	人事で策定した目標値 (若手教員の採用比率: 年平均60%以上)	前年度	実績群	1	共通指標 「福井大学における教員の 総合的な人事計画」に 掲げる目標値（この計画にお ける若手教員:当該年度の年度末 における年齢が40歳未満の者）
	4-④	女性教員比率	人事で設定した 粒度	人事で策定した目標値 (R3年度末までの目標値: 22%以上)	当該年度5月現在	員数群	3	「福井大学一般事業主行 動計画」に掲げる目標値

- 当該年度の評点
1. 評価基準等を満たしている
 2. 一部の部局で、評価基準等を満たしていない
 3. 評価基準等を満たしていない

2. 自己点検・評価結果（自己点検・評価シート）

令和5年度

データ分析による自己点検・評価シート

(基本データ：当該年度員数－補)

分類：	教育
基本データ項目：	1－②' 入学定員充足率・平均入学定員充足率（秋入学含む）
点検・評価結果	
評点	2. 一部の部局で、評価基準等を満たしていない
コメント	工学研究科（総合創成工学専攻）、国際地域マネジメント研究科（国際地域マネジメント専攻）が入学定員充足率及び平均入学定員充足率とも目標値を満たしていない。また、連合教職開発研究科（教職開発専攻）、医学系研究科（看護学専攻、統合先進医学専攻）が平均入学定員充足率の目標値を満たしていない。
特記事項	
優れている点	
改善を要する点	上記により、評価基準（目標値の下限）を満たさない部局等については、毎年度の定員確保に向けた改善が求められる。
備考	

令和5年度

データ分析による自己点検・評価シート

(基本データ：前年度実績－補)

分類：	研究
基本データ項目：	2－① 研究論文数（年間）（教員当たりの業績数）
点検・評価結果	
評点	3. 評価基準等を満たしていない
コメント	教員当たりの平均論文数は0.96編となり、目標値（1.08編）に達していない。また、「その他」以外の学系では、教員当たりの平均論文数は昨年と比べ減少している。
特記事項	
優れている点	
改善を要する点	「その他」を除く各学系において、教員当たりの平均論文数が減少傾向にあるので、論文数の増加に向けた改善が求められる。特に、論文数は共通指標などに係る重要な指標であり、その向上が求められる。
備考	

3. 分析基本データ集

分析基本データ集 1 - ②'入学定員充足率・平均入学定員充足率（秋入学含む）



年度	入学定員充足率・平均入学定員充足率				
	学部・研究科	入学定員	入学者数	入学定員充足率	平均入学定員充足率
● 2023	▲				
○ 2022					
○ 2021	連合教職開発研究科	60	66	110.0%	96.1%
○ 2020	教職開発専攻	60	66	110.0%	96.1%
○ 2019	医学系研究科	37	37	100.0%	87.6%
○ 2018	看護学専攻	12	12	100.0%	90.0%
○ 2017	統合先進医学専攻	25	25	100.0%	86.4%
○ 2016	工学研究科	275	306	111.3%	111.3%
○ 2015	産業創成工学専攻	85	98	115.3%	115.0%
	安全社会基盤工学専攻	84	93	110.7%	107.1%
	知識社会基礎工学専攻	84	97	115.5%	115.5%
	総合創成工学専攻	22	18	81.8%	94.5%
	国際地域マネジメント研究科	7	5	71.4%	92.9%
	国際地域マネジメント専攻	7	5	71.4%	92.9%
	合計	379	414	109.2%	105.8%

種別

● 大学院

入学時期

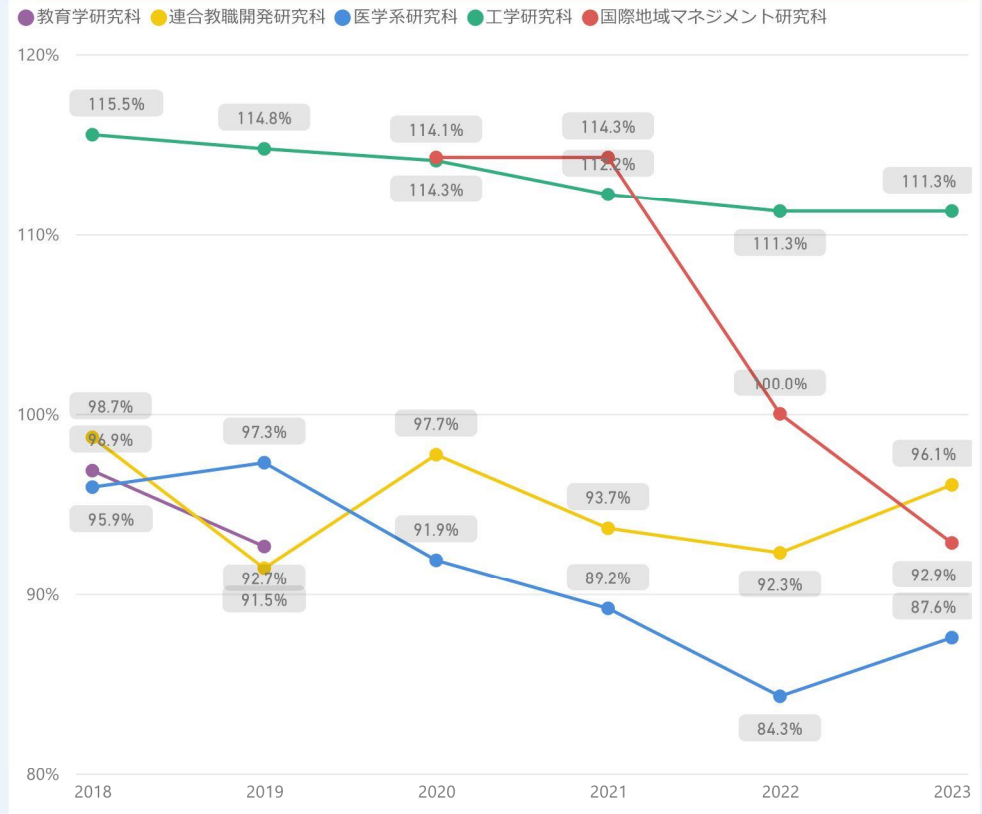
- 4月
- 10月

目標値

入学定員充足率 **100%以上130%未満**

平均入学定員充足率※ **100%以上130%未満** ※当年度を含む過去5年の平均

【参考】平均入学定員充足率の推移（学部・研究科別）



年度	研究論文数 (学系別)			
	学系区分	研究論文数	教員数	教員あたりの平均論文数
● 2022	教育系	24	73	0.33
○ 2021	保健系	283	324	0.87
○ 2020	工学系	267	170	1.57
○ 2019	総合文系	6	34	0.18
○ 2018	その他	10	11	0.91
○ 2017	合計	590	612	0.96
○ 2016				

目標値
 第3期平均値より増
 第3期教員当たりの平均論文数：**1.08編**
 (参考) 第3期平均論文数：679編

【参考】教員当たりの平均論文数の推移 (学系別)

